

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2014. 1 第40号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

会長
千葉県知事
千葉県県土整備部営繕課 課長
(一社)日本電設工業協会 会長

並木 鷹 男
森田 健 作
小林 修 一
山口 学

● 1年を振り返って

- ・ 第51回通常総会・懇親会
- ・ 平成25年度地区別会員交流会
- ・ 三県連絡会議
- ・ 日本電設工業協会 「会員大会」
- ・ 千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
- ・ 委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

再生可能エネルギー事業参入の将来性について

(株)水郷電設 横山 忠寿

私の故郷、銚子

(株)西谷電気商会 酒井 盛夫

地区別会員交流旅行について

(株)丸平電気 青木 拓也

● 新入会員紹介

東亜電設工業 (株)

(株)橋本電業社

● 賛助会員紹介 (電材部門 7社)

● 会員 消 息

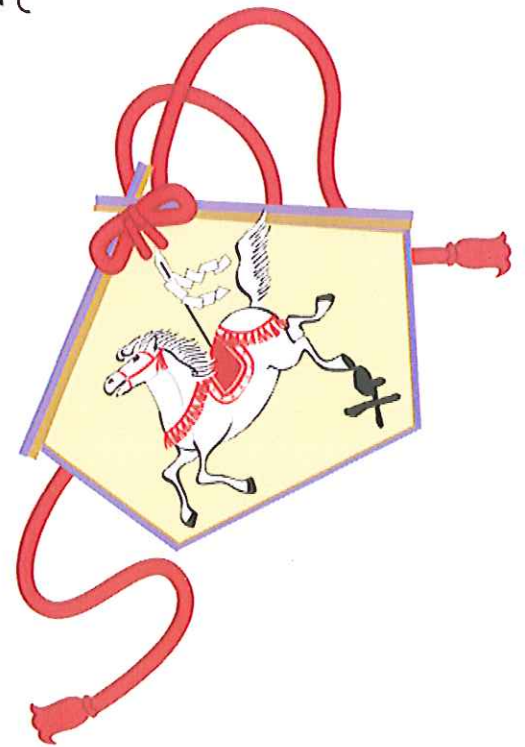
● 総会 日 程 案 内

● 会 務 報 告

● 協 会 役 員

● 会 員 名 簿

● 編 集 後 記



表紙等の写真 千葉港に停留する船

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長



並木 鷹 男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は関係各位並びに会員の皆様方には格別のご支援ご協力を賜り、改めまして心から御礼申し上げます。

さて、新しい年は如何なる年になるのでしょうか。

アベノミクス+東京オリンピックの効果は絶大で、昨年後半から建設投資が急増し、建設業界は極端な人手不足に追い込まれています。失われた20年と言われたこの20年間、建設産業はある意味“悪者扱い”され、“コンクリートから人へ”の大合唱による建設市場の縮小、建設産業の衰退、労働者の減少、その“つけ”により、一日も早い復興が望まれる東北の被災地でも、復興の足取りは捗々しくありません。

1992年に84兆円あった建設投資額は、2010年には41兆円と激減し、建設業就労者数は620万人から490万人に減少、衰退産業に優秀な若者は見向きもせず、技術者、技能者は高齢化の一途を辿って参りました。市場が縮小すれば就労人口は減少する、これは当然の市場原理です。

ところが、20年振りに潮目が変わって来ました。こうなると需給のバランスは大きく崩れ、しかも、技術者はそう簡単には育ちませんから、建設産業は全国的に労働力不足と言う深刻な問題に晒されております。景気が回復基調にあることは喜ばしいことではありますが、本年は手放しで喜べない年でもあるでしょう。

この様に難しい舵取りを強いられる本年、電気工事業界団体としての(一社)千葉県電業協会の役割はと申しますと、本年は、次の三点を重点に協会事業を推進して参ります。

- (1) 先ずは、「安全で安心」な県土創りは私達に与えられた重大な使命です。社会貢献事業として、千葉県と締結する『災害防止協定』をベースに、神奈川・埼玉両県電業協会と結ぶ『災害時相互支援協定』と連携させ、『もしもの時』に県民の安全を守ります。

- (2) 人財育成事業として『工業高校と連携する就労支援事業』を推進し、若者の就労を支援して次世代を担う人財を育成いたします。“教育は百年の計”、そう簡単に人財が育成されるとは思いません。しかし、小さな動きでも起こさなければ前には進みません。私達は、未来の業界を担う優秀な若手技術者、技能者の育成に、本年も注力致します。
- (3) 会員企業へのサービスとしては、会員企業優先発注の陳情、分離発注の推進、経営情報の提供、技術力の向上、新事業、新商品への取り組みなど、様々な情報やサービスを会員企業に提供し、会員企業の企業力、経営力の向上に努めます。

原発事故により必然となったエネルギー不足は、大きな変化を国民に求めておりますが、「安全で安心」と共に「快適な暮らし」を永続的に県民に提供する使命もございます。

最近、再び注目され始めたエネルギー・インフラ市場、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーなどの新商品が数多く出回り、ある意味、大きな成長市場に変化しつつあります。このような変化は当業界にとっては喜ばしいことでもあるのですが、機会ある度にご注意を喚起してきたように、流行ものに群がる悪徳な業者も跋扈して参りました。本協会はこのような課題にも真正面から取り組み正しい情報を提供して参ります。地域に密着する私達は永久に逃げも隠れもできません。

本協会は、現代の文明社会を支えるエネルギー・通信・インフラの整備、省エネ、新エネルギー等の環境関連事業への参入を促進し、協会挙げて県民の安全を支える災害防止活動に尽力し、企業の社会的な責任も果たして参ります。

我々業界を取り巻く環境は、未だ予断を許せる状況にはありません。しかしながら、会員一同、業界の発展と地域社会への貢献の為に、本年も協会の総力を挙げて努力する所存です。何とぞ、関係機関の益々のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田健作



明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から技術の研鑽、品質の向上、安全性の確保等に取り組まれ、本県の電気業界の発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴協会には、県との「地震・風水害・その他の災害応急対策業務協定」に基づき、災害時における公共土木施設への自主点検等に御協力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

県では、新たな総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」を策定し、次のステージに向けた一歩を踏み出しました。

この計画に基づき、災害に強い千葉県づくりや、第2の交番として期待されるコンビニ防犯ボックスを拠点に地域と連携した防犯対策など、安全・安心な県民生活の基盤を固めるとともに、県経済の活性化、農林水産業の競争力強化を図り、千葉県を更に発展させてまいります。

圏央道については、茨城県稲敷・神崎間が今年の春に開通し、神崎・大栄間も平成26年度内に開通する予定です。引き続き、1日も早く全線開通が図られるよう努めてまいります。成田空港では、平成26年度中の年間発着枠30万回の実現を目指しており、成田空港活用協議会と連携してアジアのグローバル・ハブ空港として一層の発展に向けた取り組みを進めてまいります。

また、産業振興では、更なる観光客誘致に向けて、私も先頭に立ち、本県の魅力を国内外に発信するとともに、受入体制の強化に努めてまいります。さらに、圏央道とアクアラインの接続の効果を経済活性化につなげるべく、新たな立地企業補助金制度の導入など、企業誘致に力を入れるとともに、園芸農業の産地強化や、農林水産物の高付加価値化など

により、「農林水産王国・千葉」の復活を目指してまいります。

県民生活の安全・安心の確保ですが、災害時には生命身体を守ることはもちろんのこと、災害からの被害を減らすことが重要です。このため、災害から自らを守る「自助」、近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策へ取り組むことが必要です。今後も東日本大震災からの復旧・復興に全力で取り組むとともに、地域防災力をより一層向上させ、「防災先進県・千葉」を目指してまいります。

県民の安全で安心な暮らしを守り、快適な社会基盤整備を図る上で、貴協会の果たす役割は大変重要です。今後とも、貴協会の皆様の御協力を得ながら災害に強い千葉県づくりを進めてまいります。

さて、前回多くの皆様の御理解、御協力のもと、千葉県の魅力を全国に発信したアクアラインマラソンですが、10月19日に「ちばアクアラインマラソン2014」を開催いたします。今回は、ハーフマラソンも実施し、より幅広い層の方にアクアライン上の雄大な眺望を御堪能いただけます。様々なイベントを通じて「千葉にまた来たい!」と思っただけけるよう、県民一丸となって、最高の笑顔と日本一のおもてなしでランナーや応援にお越しなる方々をお迎えしましょう。

本年も、県民の皆様が「暮らし満足度日本一」を感じ、誇れるような「日本一の光り輝く千葉県」づくりを目指して、全力で県政運営に取り組む所存です。貴協会の皆様には、引き続き御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、新年の言葉といたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

小林 修一



新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、電気設備工事の適正な施工や安全の確保等を通して、公共建築物の整備に格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

公共建築物は、県民の共有財産として、環境との調和を大切にし、地域の文化を生かした誇りと愛着の持てる良質な施設として整備するよう求められています。このため、県では「環境」、「景観」、「ユニバーサルデザイン」、「ライフサイクルコスト」に配慮した、県民の皆様が安心・安全に利用できる建築物の整備に取り組んでいます。

電気設備施設におきましては、LED照明、高効率型照明器具や高効率型変圧器、人感センサーなどの設置により維持管理コストの低減を図ると共に、太陽光発電設備を設置するなど環境に配慮した施設整備を行っています。

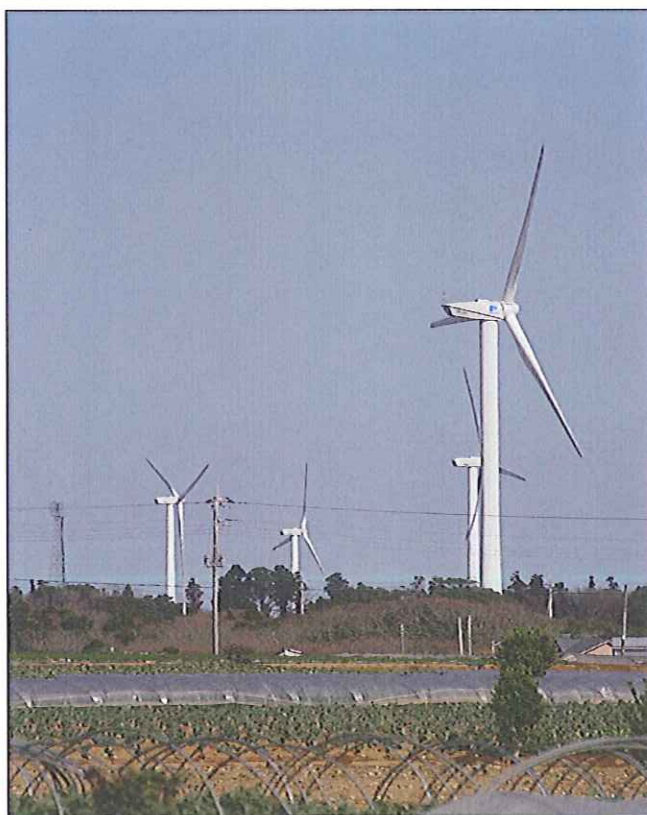
このような設備工事につきましては、専門性が高く、高度な技術を必要とすることから、専門技術者を擁し、豊富な経験を持った会員の皆様の御協力が不可欠です。このため、設備工事の発注に当たっては、建築工事とは分離し、設備工事業者様に直接発注する「分離発注方式」を採用しております。

さらに、公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立するために、価格と品質が総合的に優れた事業者を落札者とする総合評価方式一般競争入札を導入し、工事条件等を反映した施工計画や工事实績、災害協定等の締結状況など会員の皆様が長年培ってきた実績やノウハウ等が入札価格と合わせて総合的に評価される制度としています。なお、この総合評価方式につきましては、定例の意見交換会で議題となりました、県産品活用の品目などを含め、今後も忌憚のないご意見をいただき、制度のより一層の充実を図ってまいります。

また、工事の施工に際しましては、工事現場の安全を確保するため、千葉県建設工事安全対策委員会による工事安全点検に加え、営繕関係各課においては原則すべての現場において施行中の安全点検を実施しております。作業従事者の安全を確保すると共に、施設利用者や一般の方に危害を与える公衆災害の防止を図るためには、関係者が一丸となって安全対策を講じることが重要です。今後とも法令を順守し、安全管理の徹底になお一層の御協力をお願い致します。

貴会会員の皆様におかれましては、新しい法令・制度や最新技術の研鑽、後継者の育成、安全管理の徹底等に励まれ、電気設備業界のリーダーとして、県民生活の安全の確保と公共福祉の増進、さらには地域産業の振興にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、新たな年が災害のない穏やかな年であるよう祈念するとともに、一般社団法人千葉県電業協会のさらなる御発展と会員の皆様のますますのご繁栄を祈念いたしまして挨拶いたします。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 学



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

経済活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界は、自然災害に対する安全対策やサポート体制の充実を図りつつ、電力供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、また、中長期的課題である低炭素社会の実現にも貢献していきます。当協会は、昨年策定したアクションプランの4つの重点目標の達成に向け、本部・支部及び都道府県協会が手を携え、事業展開を進めます。

- 建設業界は若年入職者の減少と高齢化が急速に進んでおり、復興工事の本格化等により深刻な人手不足が懸念されます。当協会では、若年層の入職促進を図るための仕組みづくりに取り組むとともに、登録基幹技能者の処遇改善の具体化と有効活用・適正評価の推進や、社会保険加入促進による労働環境の改善を図るなど「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」に向けた取組を進めます。
- 厳しい経営環境の中で適正な利益を確保しつつ、品質の高い電気設備を供給するためには「適正な価格・適正な工期での受注の確保」が重要です。特に、需要設備の使用前検査の規制緩和に伴い、受電時の完成度が不十分な工事が増加し、品質管理や安全面への影響が大きな問題となっています。適正な受電時期の設定を確保するため、関係者相

互間での受電時期までの工事出来高チェック体制の確立を目指します。

- 顧客との直接対話を通じて電気設備工事の品質確保、技術革新への対応やライフサイクルコストの低減に的確に対応でき、また、品質とコストの関係が透明かつ明確な「分離発注の推進」を強く訴えていきます。ライフサイクルマネジメントの観点からの分離発注の優位性について検討を進めるとともに「分離発注促進キャンペーン」を展開します。

- 「省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」を図るため、スマートグリッドに関する動向・関連技術、再生可能エネルギーについての施工や系統連系等の課題、施工関与の方向性について検討するとともに、先進事例の情報収集を行い、電設業界の新たなビジネスモデルの方向性を探ります。

電設業界は多くの課題を抱えていますが、関係機関・団体との連携を強化しつつ、行動する電設協を目指して、会員が一丸となって困難に立ち向かう所存です。

結びに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。



1年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第51回通常総会

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等
平成25年 5月22日 オークラ千葉ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成24年度事業報告について ・第2号議案 平成24年度収支決算について ・第3号議案 会費改定(案)について ・第4号議案 平成25年度事業計画について ・第5号議案 平成25年度収支予算について 	出席 109人 委任状 33人 書面 35人 計 109人

第51回通常総会懇親会

開催日時、場所	出席者・対象等
平成25年 5月22日 オークラ千葉ホテル	来賓 28名 会員 45名 賛助 15名 計 88名



地区別会員交流会

地区別	開催日	会場	出席者
千葉市原地区	8月21日	オークラ千葉ホテル	14社 16名
東葛・葛南地区	8月20日	三井ガーデンホテル柏	20社 21名
北総・東総・山武・長生地区	8月20日	成田 U シティホテル	11社 11名
夷隅・安房・君津地区	8月22日	鴨川ユニバースホテル	15社 15名



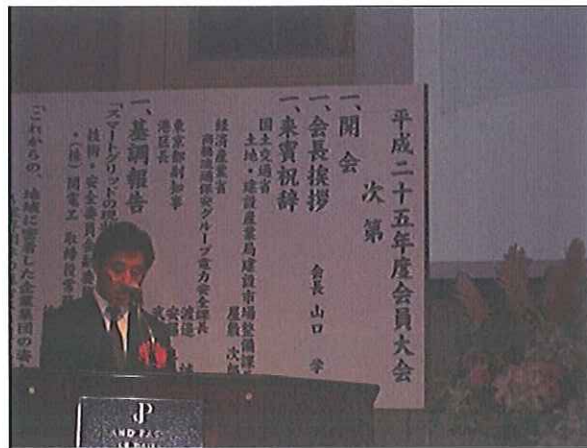
三県連絡会議

開催日時、場所	内容	出席者数
平成25年 11月22日 東京電業会館	(千葉県) ・県発注営繕工事におけるデザインビルド及び PFI 方式の採用状況について ・総合評価入札方式における加点对象事業について (BCP、CPD、他)	千葉県 10 名 神奈川県 2 名 埼玉県 2 名



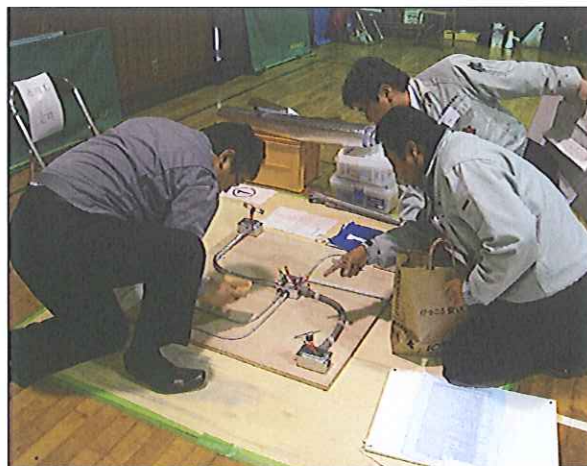
日本電設工業協会「会員大会」

開催日時、場 所	内 容	出席者数
平成25年 10月30日 ホテル グランパシフィック台場	(日本電設工業協会) ○基調報告・「スマートグリッドの現状と取り組むべき課題 について」 技術・安全委員会副委員長 ・「これからの地域に密着した企業集団の 姿とは」 千葉県電業協会 副会長 五十嵐治美 ○大会決議採択 ○記念講演「人生先発完投」 村田兆治	500名 協会出席者 理事9名



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者数
平成25年 11月30日 千葉県立 東総工業高校	(千葉県高等学校工業教育研究会) ・電気工事を含む10部門による競技 ・大会参加者 県内9校 171名	電気工事部門審 査員派遣 3名 他 3名



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

佐藤 寛



防災・渉外委員会の活動を紹介致します。

当委員会の主な目的とは、県との防災協定に沿って活動をし、各地域の出先機関との関係を密にして、営業につなげていくものと考えています。

平成25年度は防災協定締結当初に戻り、会員全員が自社の担当業務箇所を点検・チェックをし、再度場所の把握をした結果を各出先機関と協議をして、業務箇所の見直しを行いました。これによってより良いものが構築されると思います。そして、毎年行っている県との合同震災訓練は、実際に災害に直面したとき、適切な行動がとれるようにするための大変に貴重な行事です。また、渉外に関しては、例年どおりですが県発注案件での指名競争入札においては協会員の優先指名を、一般競争入札では協会員限定の枠を、県内に拠点をもつ中央諸官庁においては地区の会員の方と協力し地元での受注を、市町村においては会員のいない地区への陳情活動に力をいれてまいります。

最後になりますが、引き続き防災・渉外活動に会員皆様のご理解とご協力を、そして協会事業に積極的に参加していただくようお願いして、委員会活動報告とさせていただきます。

行事

◇震災訓練等

8月30日 県内全域・県との合同震災訓練・情報伝達訓練 会員 111社

◇県出先機関防災説明

7月～9月 地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長 事務所隊長 他 県出先機関21事務所

◇その他災害応急対策に係る事業

4月～ ・災害応急対策に係る平成25年度連絡網の調査・作成 全域、全会員
 ・業務一覧他資料の変更調査・作成
 ・災害応急対策に係る担当施設悉皆調査の実施 県内全域全会員
 ・調査結果に基づく県出先機関との打合せ 県出先21事務所
 8月 ・緊急通行車両事前届出に関する調査 全会員

◇公共工事発注機関への陳情・提言等事業

4月 ・県異動挨拶 地区理事、防災・渉外委員 他 県関係各出先機関

◇その他関係各機関との意見交換会

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

荒井 光 江



技術・人材委員会より25年度委員会活動の報告をさせていただきます。

1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の開催日程については、委員会で協議をした結果、次年度は金曜日に3週連続で行う事とし、多くの方に参加をして頂けると思っております。

経営研修会では、災害時において企業自らが継続して事業活動ができる体制を整える為の事前対策や、迅速な復旧対応の重要性を改めて感じさせられ、又、安全研修会では、労働災害の防止対策等について分かり易く説明をして頂き、有意義な研修会となりました。

技術研修会とミニ展示会が開催され、賛助会員によるプレゼンでは昨年よりも時間を長くとった事によって新商品や資機材等が、より詳しく説明されました。技術研修会では、現場代理人の基本的な心構えとコミュニケーションの取り方について、事例を挙げながら分かり易く説明をして頂き、充実した研修会となりました。今後もたくさんの皆様のご参加をお願いいたします。

26年1月には、賛助会員との意見交換会を予定しております。

皆様のおかげをもちまして、当委員会としての活動をつつがなく進めていく事ができました。有難う御座いました。今後も引き続き、ご協力を頂きながら、より充実した研修会等を開催していきたいと考えております。宜しくお願い致します。以上、報告をさせていただきました。

○4月19日～4月21日 1級電気工事施工管理技術検定試験(学科)受験準備講習会
受講生 会員 18名、非会員 3名、講師 6名(ボリテクカレッジ他)

○7月24日 経営研修会 演題「建設業における事業継続計画 BCPの必要性」
講師 (株)建設経営サービス 主席コンサルタント 橋本 秀和 氏
会 員 52名

安全研修会 演題「電気設備工事における労働災害とその対策について」
講師 (株)関電工 千葉支店 安全環境品質推進グループ課長 小原 定昭 氏
会 員 49名

○11月6日 技術研修会 演題「現場営業実践法」
講師 (株)建設経営サービス 平林 修二 氏
会 員 53名 賛助会員 19名

ミニ展示会 展示企業 岩崎電気、新明電材、ヨシモトホール、東京戸上電機販売、
東芝ライテック、パナソニック

○26年 1月22日 賛助会員との意見交換会

委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



総務・企画委員会より平成25年度の委員会活動を報告させていただきます。

近年、電気工事業界全体の高齢化が進む中、会員各社においても若い人材の確保が大きな課題となっておりますが、6月24日に工業高校等との情報交換会を開催しましたところ、大勢の皆様に出席していただきました。工業高校等との関係を密にすることで、より多くの人材確保につながっていければと思っております。

また、工業高校の先生方にも当協会会員企業の仕事内容をご理解いただくこと、そして、生徒の就職先を都内の大企業だけではなく、地元の当協会会員企業も紹介していただき、人材の地産地消、双方の理解不足による早期離職などのミスマッチを少しでも解消できるよう、更に内容を充実して開催していきたいと思っております。

当協会の主催事業ではありませんが、千葉県高等学校工業教育研究会が毎年行っている「総合技術コンクール」に、電気工事部門の審査員として協力していますが、平成27年度には千葉県を会場として「総合技術コンクール関東大会」が開催されるので、審査員の養成・増員も予定しています。

今後も、総務・企画委員会の活動に引き続きのご協力をお願いしまして、委員会活動報告とさせていただきます。

就労支援事業

1月25日 出前授業 県立市川工業高校 2年生38名、関係職員10名、会員10名

6月24日 工業高校等との情報交換会 会員 31名 学校 25名 県 2名
県立工業高校7校、職業能力短期大学、国際理工情報デザイン専門学校、
県建設・不動産課、県教育庁指導課

11月30日 工業高校技術コンクールへの審査員派遣 東総工業高校

再生可能エネルギー事業参入の将来性



(株) 水郷電設

横山 忠 寿



現在当社では電力事業の電柱建柱工事、配電線工事、各種保守・点検整備等を行う「外線電気工事」、道路照明灯・防犯灯などの設置補修、学校等の公共施設の「公共工事」、一般住宅・企業の「内線電気工事」、バス・キッチンリフォームの「建築工事」、住宅用太陽光発電設備・エコキュートの販売設置を行う「家庭用電気設備販売・施工」などの事業を営んでいます。

その中で弊社の基幹事業である「外線電気工事」は、発注元のコストダウンに伴う単価の引き下げもあり、売上高・利益ともに伸び悩んでいる状況です。

また、急速に普及が進んでいる住宅用太陽光発電関連事業についても、パネル価格の下落、急速な普及による競争激化等により売上高は悩んでおり、工業事業工事についても同様であります。

そこで、弊社が現在まで培ってきたノウハウを基にし、開発をした独自の基礎工法「S-S A工法」の特許取得と、それを活用した産業用太陽光発電事業へ参入することで、既存事業とのシナジーを図るだけでなく平成24年7月からの「再生可能エネルギー全量買取制度」を活用して、受注・利益の拡大を図り、経営革新計画を受け認定されました。

一般的に産業用太陽光発電設備というと、工場などの屋上等を利用することもあります。が、今後はいわゆる「メガソーラー」と言われる設備については、地上設置の太陽光発電設備が主流になっていくことが予想されます。

そこで、地上設置においては基礎工事が非常に重要となっており、風圧加重をクリアするべく通常工法ではかなり大がかりな基礎設計をする必要がありますが、当社が開発した工法は、「大小規模に関わらない」、「地盤の制約を受けない」、「安価なコスト・安全な施工・安心の品質」を実現した工法であります。

通常の工法と同等の強度を持ちながらも、基礎施工費は、5～6割に抑えられ、十分な強度と低価格という効率的な基礎工事を実施することが出来るとともに、当工法を現在特許出願中であり、特許使用料の増収増も図っています。

今後の事業展開として、当社にて5年間の計画期間で6カ所の産業用太陽光発電設備を

設置する予定であり、発電事業者として1カ所約1メガワットの売電収入により長期安定的な経営の要素としていきます。

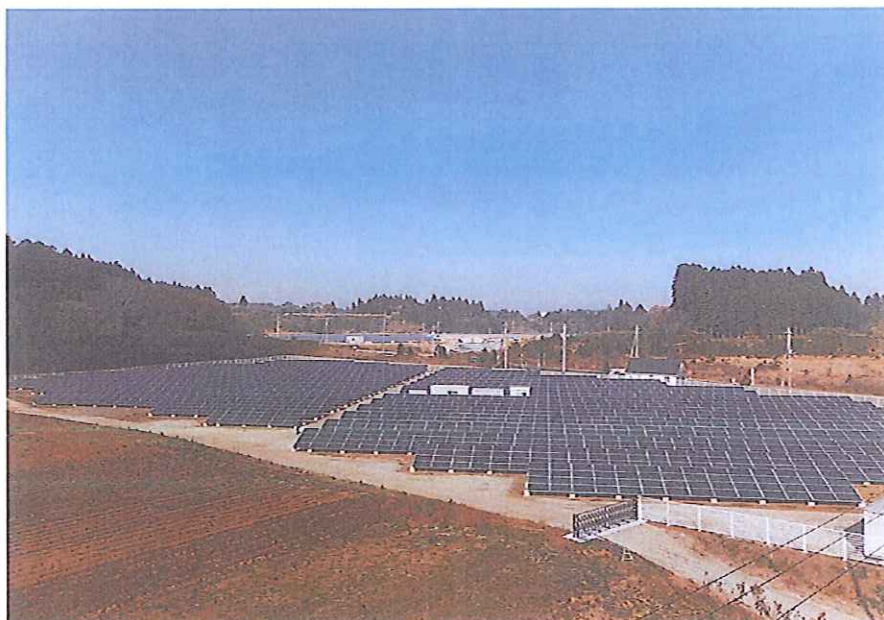
産業用太陽光発電設備設置の受注を拡大し、当社の新事業とし、既取引メーカー、金融機関と協力をして、前向きに推進を行っていきます。

当事業の実施、拡大にあたり、当社の売上・利益の拡大を行うとともに太陽光発電設備の管理者5名程度と受注拡大に伴う電気工事作業員15名程度の増員の必要性があり、地域の雇用促進にも寄与することが企業の責務と考えています。

雇用については、業界・業務未経験者や軽度障害者の採用も検討しており、それらの従業員に対しての職業訓練等の実施も行い、安定した会社経営と従業員の安定就業を図っていきます。そして、これらによって、地域の活性化や貢献を行う企業として事業展開を行っていきます。

現在、香取市は、千葉県内の自治体では初めてとなる、再生可能エネルギーの推進として未利用市有地約4haを活用して2メガワットの太陽光発電設備事業を進めており、当社が本工事を工期平成25年度末完成として設計・施工・工事監理の一式を請け負い施工を行っています。

企業の目標は営利追求ですが、同時に社会貢献の責務を有します。この意識を大事にして、人・企業・社会が共に成長する未来構築を図りたいと考えております。



私の故郷、銚子



(株) 西谷電気商会

酒井盛夫



今回は、私の生まれ育った銚子の町や観光スポットについてご紹介させていただきます。

魚の町、醤油の町、銚子。この銚子の観光の魅力は、なんといっても豪快な海岸線、空気のおいしさ、そして夏涼しく、冬暖かいこと。そして全国屈指の銚子漁港に水揚げされた新鮮なお魚が食べられることです。

また、水郷筑波国定公園である銚子半島一帯の海岸線は、犬吠埼を中心として岬あり、断崖絶壁（屏風ヶ浦）ありと変化に富んでおります。

私なりに紹介させていただきます。

なんといっても銚子の魚、1年中、美味しい魚が食べられます。

（水揚げされる時期）

春 マダイ・ホウボウ・メバル一年中、ヤリイカ・メヒカリ 9月～6月、ハナダイ 9月～5月、サヨリ 12月～4月

夏 カツオ・イワシ・マグロ類・スズキ・アイナメ・アナゴ一年中、磯ガキ 5月～9月

秋 アジ・サバ・マルガニ一年中、サンマ 8月～12月、クルマエビ 9月～6月
サルエビ・シタビラメ 9月～5月

冬 ヒラメ・キンメダイ・メカジキ・ビンナガ・メバチ・タコ一年中、アンコウ 11月～4月
キンキ 9月～6月

その中でも私の好きな魚とその料理法を紹介いたします。

1位 カツオ 刺身（ニンニクたっぷり醤油）、たたき

2位 キンメダイ 刺身、煮魚、揚げ物など

3位 メヒカリ 揚げ物です。

私のお勧めの観光スポットを一部紹介いたします。

1位（犬吠埼灯台）

豪快な犬吠埼の突端にそそり立つ白亜の塔、犬吠埼灯台は1874（明治7）年英国人リチャード・ヘン

リー・ブラントンの設計により造られた西洋型第一等灯台で、日本で24番目に点灯されました。レンガ造りの建築物としては日本で2番目の高塔(31.57m)として、また第一等4面レンズを通して200万カンデラの光を発しています。99段のらせん階段を昇った眺望は太平洋の孤島に身をおいた錯覚を覚えるほど雄大です。平成10年には「世界の歴史的灯台100選」に選ばれました。

2位 (犬吠埼の初日の出)

緯度と経度の関係から、関東最東端の犬吠埼は、富士山頂・離島を除き日本で一番早く初日の出を拝めます。いつもでしたら犬吠埼から私の家まで車で5分～10分くらいの距離ですがこの日だけは渋滞で1時間30分～2時間かかるほどの大賑わいです。

3位 (屏風ヶ浦)

銚子から飯岡町刑部岬(ぎょうぶみさき)まで、延々10キロにわたる海岸の絶壁(海拔40～50m)は、英仏海峡のドーバーの「白い壁」に匹敵するといわれ、荒削りで雄大なスケールは、素晴らしい眺めです。雑誌の撮影、プロモーションビデオ、ドラマ、映画の撮影にもたびたび使われているスポットです。

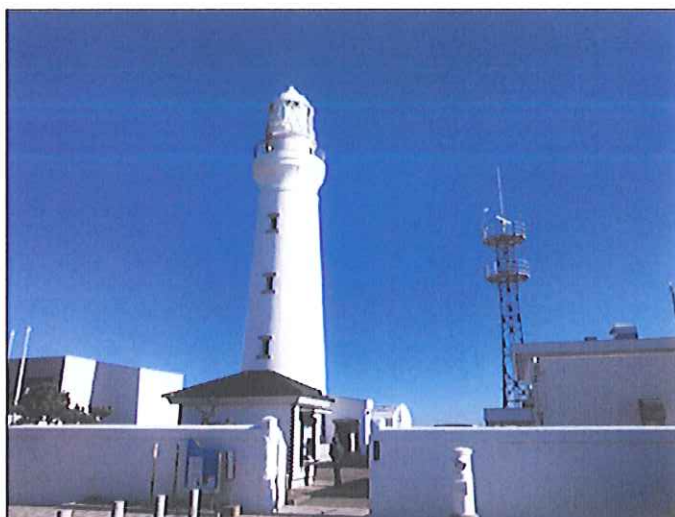
4位 (イルカウォッチング)

親潮と黒潮の交錯する銚子沖。沿岸から沖合い(1～30km)海域でほぼ一年をとおしてイルカ・クジラ類の遊泳が高い確率で見られます。最近まで私も知らなかったスポットです。

5位 (レインボーヒルズカントリークラブ)

利根川を眼下に見下ろす美しい林間コースで、適度なアンジェレーション、広くゆったりしたフェアウエイ、大胆なグリーン、巧みに配置された池やバンカーなど、一年中快適なプレーが楽しめます。最近またゴルフを始めたのでお勧めしてみました。

もっと紹介したい、食べ物、海、温泉、自然、遊び場、伝説、体験スポット、お寺や神社など色々ありますが又の機会にご紹介させていただきます。皆様に、銚子に来ていただきたいと思います。簡単ではありますがこれで終わりにいたします。ありがとうございました。



地区別会員交流旅行について



(株) 丸平電気

青木拓也



当地区では、昨年から地区会員に参加を募って、地区別会員交流旅行を執り行っています。私は、昨年より交流旅行の幹事を仰せつかっておりますので、今回は交流旅行の御紹介をさせて頂きたいと思います。

今年の地区別交流会でも、昨年の交流旅行の話題と成りました。常日頃から旅行を趣味としている私としては、この業界は旅行に行ける日を待っているよりも、旅行に行く日を決めて予定を調整するしかないと言うのが持論です。そうです。「旅行に行く日を決めるのは何時なの！今でしょ！」ということで、地区別会員交流会に参加している方々と都合のよい時期を真剣に話し合い、今年はタイにゴルフ旅行へ行く事と成りました。

旅行中は天候にも恵まれ、楽しみにしていたゴルフが始まりました。スコアの方はさておき、ゴルフを楽しみながらも日本とは違う何かを感じていました。例えば、私達がミスショットをした時は、キャディーさんたちが「テンプ～ラ～！」と言いながら大笑いし、さらに、休憩所でカップラーメンを食べ始め、食べ終わらなくてもカートに乗りながらもまだ食べ続けます。彼女たちは、お客の扱いがすごくアバウトです。やっぱり日本は「おもてなし」の国なんだと思いつつも、日本ではできない体験で、逆に笑いが絶えないゴルフを満喫してきました。

今回の交流旅行では、普段あまり聞けない、会員の皆様の家族の事や地元の事など新しい発見が色々あったので、本当の交流が出来たのではないかと実感しています。

まだまだ、参加人数は地区別で少数ではありますが、今後も継続して行き、参加者も増えていけばいいなと思っています。

